

(10) 三田神社 (みたじんじゃ)

〒518-0022 三重県伊賀市三田2477

TEL: 0595-21-1903

伊賀上野駅から徒歩5分

訪問日: 2013年12月11日、2014年5月11日

主祭神: 素盞鳴命

祭神: 戸隠神、大日靈貴命、五男三女八柱神、菅原道眞、蛭子命、少名彦命、天兒屋根命、大物主神、大山祇命、宇迦能御魂神、金山彦命、應神天皇、火之迦具土命



由緒: 当社の創祀については詳らかにし難い。近世の地誌類によれば、「伊水温故」には貞治年中川合藪田の社より勧請されたと言い、「三国地誌」には牛頭天皇祠、天王八幡の二座を祀ると記している。江戸時代を通じ近郊の氏神として人々の崇拝を集めていた社である。社記によれば、弘化三年(1846)現在の鎮座地に社殿を造営のうえ遷座された。当所、社名を八雲神社と称したが、明治29年に国府神社と改称した。同40年(1907)には三田字澤鎮座の無格社十柱社当社境内社八幡社・愛宕社・山神社、大谷森庵鎮座の村社天満神社、同境内社津島神社・稻荷神社・金比羅神社、野間字上出鎮座の村社天満社、同境内社神明社・蛭子社・津島社・粟島社・三つ神社をそれぞれ合祀した。同41年村名に因み社名を三田神社と改称した。

朱色の橋を渡り、参道を進むと、左手に手水舎がある。朱色の木の両部鳥居をくぐると境内中央の石組みの噴水があり、正面には横に長い神楽殿が見える。神楽殿を抜け、長い石段を登ると、かわいらしい阿吽の狛犬に守られた拝殿に到着する。本殿は流造でその他、幣殿、神饌所、社務所、参籠舎があり、境内神社としては祖霊社と八幡社跡地に石の祠が立っている。境内のまわりにはサクラ、シロダモ、クスノキ、アカガシ、サカキ、センダン、アオキ、カナメモチ、ヤブツバキ、キササゲ、ネズミモチ、アラカシ、スギ、ビワ、ヤマザクラ、シュロ、フジ、アセビ、ヒサカキ、ヒノキ、クスノキ、ケヤキ、アベマキ、クリ、モミノキ、ツブラジイ、カスダジイ、メタセコイヤ、モミジ、オオモミジ、マンリョウ、イヌマキ、ミツバアケビなどがみられる。



祭祀は例祭（10月16日）、祇園祭（8月1日；花傘七基が練り出し、内二基は四方飾りで装飾）、その他年中恒例猜疑26回行われている。5月第2日曜日には神社の神田で御御田祭が行われる。御御田祭では地元の小学校の女子で構成される早乙女さんにより田植えが行われ、秋の実りや五穀豊穡を祈る。宝物として棟札（一枚、1834年）がある。



特記事項：三田神社は、み田のことで、永らく絶えていた御田祭を平成の御代を祈念して復興した。早乙女20名が田植えをするが「田打ち」と「早苗振り」が古くからの祭祀の形を残している。現在は6月第2日曜日神社南側の神殿で行われ、収穫した餅米は餅にして神前に供された後、氏子が頂く。